

## 基礎看護学Ⅲ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 4.5 時間 演習 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目は、人体の構造と機能を理解した上で臨むことが前提である。視聴覚教材やシミュレーターを十分に活用し、バイタルサインの測定をはじめ、全身状態を観察する健康状態の査定に関する技術を学び、看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を理解する。そして、フィジカルアセスメントだけでなく、ヘルスアセスメントも加え、対象のアセスメントを理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

人体の構造と機能を理解した上で授業に臨み、講義の他、視聴覚教材やシミュレーター、学生間での観察を通して、問診と視診・触診・打診・聴診の技術を用いて、系統別に身体の健康状態を査定することができるようになる。事例では、対象に必要な観察は何かを考え、その結果から対象の状態をアセスメントし、必要な援助を考えることができるようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4

### ・到達目標（SBO）

1. 看護の視点で対象者を観察することができる。
2. フィジカルアセスメントができる。
3. 収集した情報を統合して健康状態をアセスメントできる。

・授業日程

(矢) 東 2-A 講義室、(矢) マルチ 4-A 講義室  
 (矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
11/2	金	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	フィジカルアセスメントとは バイタルサイン 身体計測 ・看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を述べることができる ・フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）を説明できる
11/9	金	2	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	頭頸部と感覚器のアセスメント ・頭頸部と感覚器のフィジカルアセスメントの目的と方法を説明できる ・頭頸部と感覚器のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/22	木	4	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	呼吸器系のアセスメント① ・呼吸器系のアセスメントの目的と方法を説明できる

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
11/26	月	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	呼吸器系のアセスメント② ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる。
11/26	月	4	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	呼吸器系のアセスメント③ ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる。

11/30	金	3	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	循環器系のアセスメント① ・循環器系のアセスメントの目的と方法を説明できる
11/30	金	4	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	循環器系のアセスメント② ・循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
12/11	火	4	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	脳・神経系のアセスメント① ・脳・神経系のアセスメントの目的と方法を説明できる
12/11	火	5	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	脳・神経系のアセスメント② ・脳・神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
12/14	金	1	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	筋・骨格系のアセスメント① ・筋・骨格系のアセスメントの目的と方法を説明できる
12/14	金	2	共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	筋・骨格系のアセスメント② ・筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
12/21	金	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	腹部消化器系のアセスメント① ・腹部消化器系のアセスメントの目的と方法を説明できる
12/21	金	4	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	腹部消化器系のアセスメント② ・腹部消化器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる

1/7	月	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	事例をもとにフィジカルアセスメントを実施①  ・ 提示された事例について、対象に必要な観察は何かを述べることができる ・ 対象に必要な観察を実施できる
1/7	月	4	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	事例をもとにフィジカルアセスメントを実施②  ・ 観察の結果から、対象の状態のアセスメントと必要な援助を述べる ことができる

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	フィジカルアセスメントがみえる	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	2015
教	基礎看護技術 I 第5版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017
参	根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント	清村紀子 工藤二郎編集	医学書院	2014

・ 成績評価方法

筆記試験 80 点、演習への取り組み 20 点の合計 100 点とする。

\* 演習への取り組みは、演習時の態度と指定された提出資料の内容・提出期限の厳守も含む

・ 特記事項・その他

**【事前学修内容及び事前学修時間】**

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、事前学修課題の実施や“e ナーストレーナー”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。各授業について、最低 30 分の事前学修を要する。フィジカルアセスメントの修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後は主体的に自己学修を行い、知識と理解の定着に努めること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

演習の評価は評価表に基づき評価し、後日学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】  
看護師（別表3）：専門分野Ⅰ 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	フィジカルアセスメントモデル “Physiko”	3	呼吸・循環等の観察
演習	呼吸音聴診シミュレーター “ラングⅡ”	1	呼吸の観察
演習	ペンライト	24	口腔・瞳孔の観察
演習	舌圧子	90	口腔の観察
演習	瞳孔計	24	瞳孔の観察
演習	音叉	12	脳神経の観察